

## 第4章 プロジェクトの妥当性の検証

## 第4章 プロジェクトの妥当性の検証

### 4-1 プロジェクトの効果

現状と問題点	本計画での対策（協力対象事業）	計画の効果・改善程度
ジャカルタ近郊のブカシ県をパイロット地区として、「イ」国市民警察活動の改善に関する技術協力プロジェクト（技プロ）が進行しているが、警察活動に必要な多くの無線機材が不足している。	ブカシ警察署管内無線通信の構築 <ul style="list-style-type: none"> <li>・携帯無線機</li> <li>・車載無線機</li> <li>・基地局用無線機</li> </ul>	無線システムは警察活動を行う上での必須機材であり、市民からの通報に迅速に対応できる。
ブカシ警察署管内は面積的にも広く（14.7 万 <sup>2</sup> ）、現在の無線システムでは不感地帯が多く発生しており、捜査活動に支障をきたしている。	無線中継所の整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・無線中継機</li> <li>・システムコントロール装置</li> <li>・マイクロ波中継装置</li> <li>・電源装置</li> <li>・既存システムの改造</li> <li>・試験機材</li> </ul>	ジャカルタ警視庁、ブカシ警察署、各分署および携帯無線機の各相互間の通信指令が一元的に管理される。
「イ」国の犯罪捜査活動においては、証拠資料（指紋、足跡等）を得るための鑑識手法が定着しておらず、被疑者の自供を中心とした捜査手法に頼っている。	現場指紋採取キット 特殊指紋採取キット 現場写真撮影キット	「技プロ」によりブカシ警察署に対して現場鑑識の技術移転が実施されており、現場鑑識活動で得たデータが人権にも配慮した捜査活動に生かされる。
現在 INP 本部鑑識課には旧式の白黒の写真現像・焼付機材しかないため、カラーフィルムは民間の DPE ショップで現像・焼付を行っている。これは情報漏えい、人権等の問題発生につながる恐れがある。	写真現像機 写真焼付機 写真撮影・現像関連薬剤等 インスタント・プリント・システム ラボ用エアコン	ジャカルタ警視庁において写真現像・焼付機材が配備されれば外部に情報が漏れることもなく、現場証拠写真は一元的に管理される。
「イ」国で最大の流通違法薬物である大麻が毎年数十トン押収される等、同国は薬物通過国から薬物供給国へと変化している。同国の薬物汚染度の問題は深刻で、薬物取締りの適正化と捜査効率の向上は急務の課題となっている。	薬物簡易鑑定セット サンプル試薬	薬物取締重点地域 10ヶ所を取り締まる州警察本部に鑑定セットを優先的に配布することにより、警察の薬物取締り活動が強化されることから犯罪件数が減少することが期待できる。
被疑者の身柄拘束の判断は薬物の外観や本人の自供に頼っているのが実情であり、「物証」よりも「人証」が優先されている。	(同上)	薬物対策分野専門家の活動を支援し、「イ」国警察活動においても「物証」による科学的捜査が可能となる。また、検挙率も向上する。
薬物鑑定試薬は化学薬品のため経年変化、温度変化があるが、保管用冷蔵庫がないため、現状では常温で保管されており、試薬が変色したり、蒸発してしまっ使用できなくなっているものが多い。	冷蔵庫	試薬の保管に必要な冷蔵庫を配備することで、試薬の劣化を最小限にとどめることができる。このため、試薬の調達経費の削減に繋がる。また、冷蔵庫の管理部所による試薬使用の一元的管理ができる。
薬物対策の第一線における薬物捜査において捜査員の相互連絡、指揮官への報告等には個々の捜査員が自費で購入した携帯電話が用いられている。しかし、携帯電話は無線機のように同報性がないため、容疑者を失尾する等捜査に支障をきたしている。	小規模無線システム	システム内容はリピーターと無線端末であり、薬物捜査に必要な可搬型無線システムが配備されれば、容疑者追跡捜査活動の効率が向上し、犯人逮捕の改善に繋がる。

## 4-1-1 直接効果

### (1) 迅速な警察活動の実施

ブカシ警察署管内、ジャカルタ警視庁ーブカシ警察署間の警察無線通信システムが構築されることにより、市民からの通報に対して、迅速に対応できるようになり、市民サービスが向上すると共に、検挙率も向上する。

### (2) 科学的手法による民主的かつ人権に配慮した捜査活動の実施

科学的捜査手法である現場鑑識および薬物鑑定が向上することにより、人権により配慮した、民主的な警察活動が実施される。

### (3) 人材育成

市民に信頼され、市民の期待に応える警察への改革を目指す「国家警察改革支援プログラム」を側面支援する計画であるため、同プログラムがより一層推進されることにより、市民警察としての意識改革に結びつく人材が育成され、INP 全体の改革につながる。

## 4-1-2 間接効果

### (1) 民主化の促進

民主的で公平な社会造りに必要な警察官の意識改革による平和構築と社会の安定確保に寄与する。

### (2) 外国直接投資の促進

外国直接投資の重要な要因である治安問題が安定してくれば、対外イメージも改善され外国直接投資を促進し、「イ」国経済の発展に寄与する。

## 4-2 課題・提言

本件を計画どおり推進するためには、「イ」国側は以下の事項を実行する必要がある。

### (1) 既存機材の撤去

無線中継所の局舎内にある現在使用していない機材および鉄塔の空中線（アンテナ）、また、ジャカルタ警視庁鑑識課の写真ラボ室内に設置されている老朽化しているエアコンを新規調達機材据付までに撤去すること。

### (2) 鉄塔修復

本計画で使用するチカラン中継所の鉄塔は、一部アングルの欠落部分の修理や鉄塔の塗装の必要性はある。本計画で調達する新規機材の据付までに、既存鉄塔の補修は「イ」国側負担で実施すること。

### (3) 消耗品調達予算化

薬物簡易鑑定試薬や現場鑑識資機材の一部は消耗品である。本計画ではほぼ1年分を調達する計画であるが、2年目以降の調達は「イ」国側で行うことになる。INPはこのための予算措置を今から行う必要がある。

### (4) 試薬の管理

薬物簡易鑑定試薬の管理が十分とは言い難いため、INP 薬物対策課および重点取締り地域の州警察本部の計10ヶ所に配備される冷蔵庫の管理部所は試薬の保管および使用の管理を徹底すること。

### (5) 機材の適切な使用

携帯無線機は適切に使用されるかどうかで、その寿命に大きく影響する。本計画では10年以上を目標としているため、使用者一人一人の日常管理の心構えが重要である。

### (6) 環境への配慮

本計画で調達される写真現像・焼付機はジャカルタ警視庁鑑識課で管理されるが、写真現像の段階で使用する現像液は有害物質（銀）を含んでいるため、環境基準に準じた廃液処理方法が必要である。これを専門に取り扱う業者があるので、これを含めて、適切な廃液処理方法を採用すべきである。

## 4-3 プロジェクトの妥当性

本計画の妥当性にかかる検討結果を以下に示す。検討の結果、本計画を我が国無償資金協力にて実施することは妥当である。

- 1) 本計画は「イ」国政府が進める民主化の一環を支援するものである。
- 2) 市民の安全を確保する上で国家警察の役割は重要であるが、本計画は民主的な警察行政サービスの改善を支援するものである。
- 3) 被援助国である「イ」国が、独自の資金で運営、維持管理を行うことができる計画である。
- 4) 警察活動が改善してくれば同国の治安も安定化するため、投資促進の改善に繋がる。
- 5) 我が国の「技プロ」がプカシ県で実施されており、「技プロ」の活動を支援するのに資する計画である。
- 6) 環境を考慮した機材計画を設定したため、環境面の負の影響が少ない計画である。
- 7) 本計画は、我が国の無償資金協力のガイドラインにより、特段の困難がなく実施可能である。

## 4-4 結論

本計画は前述のように多大な効果が期待できると同時に、「イ」国国家計画の推進、ひいては「民主的で公平な社会造り」の実現に資することから、協力対象事業の一部に対して、我が国の無償資金協力を実施することの意義は大であると判断される。更に、本計画の運営・維持管理については「技プロ」の専門家による技術指導が行われており、本計画のより円滑な運営かつ効果的な実施が期待される。